

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成27年9月実施分・訂正版)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m³上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:110)
2. 調査実施時期 平成27年9月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査
4. 企業判断指数の算出方法
[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)
5. 調査結果(回答工場数:92社 / 回答率:83.6%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
H26.12	-18	-2	-24	-	-	-
H27.3	-	5	-10	-11	-	-
H27.6	-	-	9	-11	-12	-
H27.9	-	-	-	7	-1	0

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
当年	162,519	190,897	167,965	-	-	-
(前年)	115,438	144,249	169,989	172,959	162,519	190,897
対前年比	141%	132%	99%	-	-	-

(概況)

原料在庫は前年並みの水準となりつつあり、今後も前年並みを維持する見通し。

(回答企業の主なコメント)

バイオマス発電の影響は今のところない／
バイオマス発電関係で品薄の危機感有り／
バイオマス発電の影響で小丸太工場は厳しくなるのでは／

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
H26.12	-10	-43	-20	-	-	-
H27.3	-	-39	-17	-5	-	-
H27.6	-	-	-61	-44	-22	-
H27.9	-	-	-	-70	-46	-37

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
当年	209,330	196,064	210,535	-	-	-
(前年)	223,716	182,082	208,773	215,499	209,330	196,064
対前年比	94%	108%	101%	-	-	-

(概況)

荷動きは落ち着きを取り戻し前年並みの水準だが、先行きに対しては不安が残る。

(回答企業の主なコメント)

前年同時期よりは悪いが多少動いてきた／
動きが悪い／鮭鱒流し網禁止の影響大／

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
H26.12	-17	-4	-22	-	-	-
H27.3	-	-7	-18	-26	-	-
H27.6	-	-	9	-11	-19	-
H27.9	-	-	-	4	2	-16

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m³)

	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
当年	222,992	270,850	291,680	-	-	-
(前年)	172,795	225,777	245,464	248,528	222,992	270,850
対前年比	129%	120%	119%	-	-	-

(概況)

原料在庫は依然として前年を上回る水準となっており、今後も前年を上回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

夏山の皆伐等で在庫増／原木価格は現状保合／

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
H26.12	22	11	13	-	-	-
H27.3	-	11	11	-2	-	-
H27.6	-	-	-43	-45	-23	-
H27.9	-	-	-	-84	-63	-46

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m³)

	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6	H27.7-9	H27.10-12	H28.1-3
当年	292,336	280,059	298,058	-	-	-
(前年)	280,344	271,336	318,689	294,446	292,336	280,059
対前年比	104%	103%	94%	-	-	-

(概況)

荷動きは減速傾向の中、先行きについても前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

スギ・ヒノキの建築材が梱包市場に食い込んでいる／製材の受注状況非常に悪い／ラミナの受注減により梱包材を増／中国の景気悪化の影響有／